**RAISE3D Pro2使い方**

1. ファイルはSTLファイルにしてUSBに保存しておく

忘れた場合は３Dプリンタを正面にして左の壁側にあるPCでinventorを開いて、名前をつけて保存でSTLに変換する

1. ３Dプリンタの側にあるPCにUSBを挿し、ideaMakerでファイルを開く

ideaMakerにS T Lファイルをドラッグ＆ドロップする

1. 使用するフィラメント、ノズル、印刷位置などを設定する
2. 「スライスを始める」を選択し、3Dプリンタで実行するためのファイルを作成する

メインテンプレートは標準を選択すれば良い

gcodeファイルをU S Bにエクスポート

U S Bを３Dプリンタに挿す

1. Excellをオンライン状態で開き、名前、時刻、フィラメント使用量などを記録する

フィラメント使用量はideaMaker参照

1. ３Dプリンタ右側面の扉を開きフィラメントの先を斜めに切った後、チューブに入るまで押し込む

フィラメントはホイールの穴に通して止められているので穴から抜き取ってチューブに入れる

左右のノズルを間違えないように注意

1. 「設定」→「ロード」を選択してノズルが加熱されるのを待つ

その後、画面に出てくる指示に従う

1. ノズルを加熱するとノズルからフィラメントが出てくるので、「確定」を押して正面の扉を開き手で取り除く

3Dプリンタ下の引き出しに手袋があるので使うと良い

1. 「印刷を開始」→「U S B」→該当するgcodeファイルを選択するとプラットフォームが加熱される
2. 加熱が終了するとプラットフォームとノズルが近づいて原点調整を行いフィラメントが一定量出てくる
3. ノズルが少し動き出すので、素早く正面の扉を開いて出てきたフィラメントを取り除く

\*このステップは飛ばしても良いがたまに印刷物に影響を与えることがある

1. 正面の扉を開き、ねじを緩めてプラットフォームを取り外す
2. 下の引き出しに入っているスクレーパーで造形品を取り外す
3. 手で造形品に下についているサポートを取り外す
4. フィラメントをアンロードする